



平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

安城市長 神谷



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、別添のとおり今後の道路政策に関する意見を  
回答します。

担当 安城市建設部土木課  
電話 0566-76-1111  
内線 2272

本市の目指す都市像・・・「市民とともに育む環境首都・安城」

【 目指す都市像を実現するための課題 】

1 拠点を核とした市街地形成に関する課題

本市では、JR安城駅周辺を中心市街地と、新幹線三河安城駅、名鉄新安城駅、名鉄碧海桜井駅の3つの駅周辺市街地を4つの拠点として位置づけ、それぞれの個性と快適性に優れた拠点整備を図り、一体性のある市街地の形成を進めている。各拠点においては、平成16年度に創設されたまちづくり交付金を活用し、各地区の都市再生整備計画の目標達成に向け事業を進めているところである。持続可能なまちづくりを進める上で重要な当制度の継続は言うまでもなく更なる制度の拡充（エリアの重複など）が必要である。

2 都市の連携軸の形成に関する課題

本市では、水と緑の環境軸、東西方向と南北方向の道路交通軸及びJR・名鉄の鉄道交通軸を都市の連携軸と位置づけ、市全域の都市機能の連携強化を推進している。道路交通軸では、広域交通体系上重要な役割を担う伊勢湾岸自動車道、国道1号とともに、整備中である国道23号（地域高規格道路）の早期完成が必要である。さらに広域的な幹線道路へのアクセスを円滑にするため、主要地方道及び一般県道などの主要幹線道路の整備を推進し、道路ネットワークの形成の促進が必要である。

3 地球環境にやさしい交通環境づくりに関する課題

本市では、暗渠化した農業用水の上部を利用した自転車歩行者道を軸として、安全で快適な自転車を中心とした交通環境づくりのため、エコサイクルシティの実現やレンタサイクルの普及による自転車利用の促進を進めている。また、都市交通の利便性や効率性を高め、環境負荷を少ないものとしていくため、自転車交通や公共交通機関（鉄道、路線バス、コミュニティバス）などが連携できる交通結節点などの整備を進めていく。これらの環境首都の実現に向けた施策の一環である交通環境づくりに必要な地方の道路整備費の拡充が必要である。

#### 4 中心市街地及び周辺市街地の課題

本市の中心市街地は、消費者の消費動向の変化や経営者の高齢化に伴う後継者問題などによる空き店舗の増加に加え、市民病院クラスの病院の郊外移転による影響から賑わいが失われつつある。また他市と同様に木造老朽建築物が密集している中心市街地では、災害時の多様な危険性が高い地区である。これらの二つの大きな課題に対し、早急な対応を求められている。

また、自動車産業を中心とした企業の好景気により、人口急増期を迎え、無秩序な都市化が非常に早い勢いで進んでいる。これらの急増する新たな人々に秩序ある定住を図り持続可能な住環境を提供するために、周辺市街地においては、土地区画整理事業による都市基盤の整備を進めている。

以上の中心市街地及び周辺市街地の都市基盤整備に必要となる都市計画道路や区画道路などの整備費に対する補助率の拡大や補助制度の拡充が必要である。

平成19年5月8日

安 城 市 長      神 谷   学